

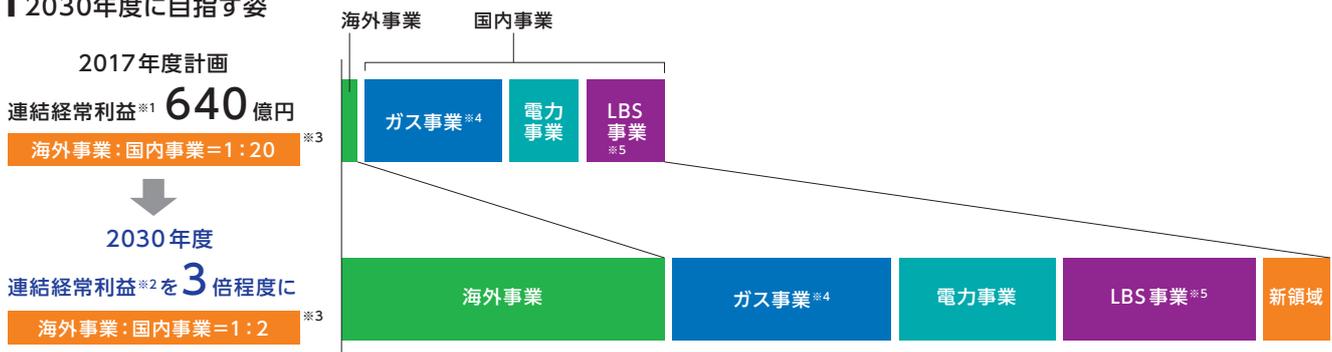
# 「2030年度に目指す姿」の実現に向けた取り組み

「Daigasグループ長期経営ビジョン・中期経営計画Going Forward Beyond Borders」  
Daigasグループの長期経営目標(重要経営課題) 基本的な考え方

<p><b>1 事業領域拡大・サービス拡充</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「国内エネルギー:ガス製造・販売/ガス配給/電力発電・販売/新領域」、「海外エネルギー:海外上流・トレーディング/海外中下流」、「LBS:都市開発/材料/情報/新領域・その他」の各事業領域における成長を実現するとともに、油価変動等の事業リスクに対して強靱な事業構造を確立する。</li> <li>都市ガス供給のみならず、電力供給、LPG供給、ライフサポート、ビジネスサポート等のDaigasグループによる質の高いサービスを提供し、収益を深堀りする。</li> <li>国内広域、海外戦略地域への事業展開を尚一層推進する。</li> </ul>
<p><b>2 エネルギーの プロフェッショナル集団 としての安心・安全の提供</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世の中の技術進展をいち早く活用するとともに、当社独自の開発技術の商品化や新しい取り組みへのチャレンジを継続的に進め、安心・安全で高品質なサービスの提供を絶え間なく継続する。</li> </ul>
<p><b>3 企業品質・事業品質の 向上による信認の獲得</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お客さまに選ばれ続ける事業活動、コンプライアンスに配慮した事業活動、地球環境に配慮した持続可能な事業活動による質の高い経営を行う。</li> </ul>
<p><b>4 企業価値の向上</b></p>	<p><b>資産効率、資本効率の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>EBITDA<sup>※1</sup>、ROE、ROAの向上を目指し、継続的に利益率向上に取り組む。</li> </ul>
	<p><b>株主還元</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安定配当の継続を基本に据えながら、業績や今後の経営計画等を踏まえ、自己株式取得を含む他の利益還元策等を総合的に勘案して決定していく。</li> <li>配当性向は、大阪ガス個別の剰余金分配可能額の範囲内で、短期的な利益変動要因を除いて連結配当性向30%以上を目指す。</li> </ul>
	<p><b>財務健全性の維持</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定量的なリスク量管理を行っていくとともに、「自己資本比率50%程度」、「D(有利子負債)/E(自己資本)比率0.7程度」を中長期的に維持する。</li> </ul>

※1 EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費+持分法投資損益

## 2030年度に目指す姿



※1 油価55ドル/バレル、為替115円/ドル前提

※2 油価70ドル/バレル、為替115円/ドル前提

※3 連結経常利益ベース

※4 ガス事業利益には機器販売やLNG販売等を含む

※5 Life & Business Solutions

## Daigasグループの長期経営目標 具体的な目標指標

	長期経営目標項目	2017年度実績	中期経営計画 2020年度	長期経営ビジョン 2030年度
事業領域 の拡大	電源調達容量 <sup>※1</sup>	330万kW		900万kW
	再生可能エネルギー電源容量 (上記の内数)	—	—	100万kW
	お客さまアカウント数	827万件	—	1,000万件以上
	天然ガスビジネス規模	1,030万t	—	1,700万t
品質向上	各接点におけるお客さま満足度	92.5%	94.0%	95.0%
安心・安全	ガス導管、ガス製造・発電事業 における安心・安全の確保	重大事故ゼロの継続		
環境・CSR	CO <sub>2</sub> 排出削減量 <sup>※2</sup>	61万t	約700万t	約7,000万t
投資 <sup>※3</sup>	投資合計	1,154億円	7,000億円	2兆円
	成長投資額	733億円	5,200億円	1兆4,500億円
	国内エネルギー	314億円	2,000億円	5,200億円
	海外エネルギー	236億円	2,140億円	5,500億円
	ライフ&ビジネス ソリューション	181億円	1,060億円	3,800億円
	品質向上投資	421億円	1,800億円	5,500億円
収益性	EBITDA	1,671億円	2,000億円	—
	ROE	3.8%	7.0%	—
	ROA	2.0%	3.5%	—

※1 国の制度設計等の状況によっては、市場・他社からの調達にシフトさせることも検討

※2 2017～2020年度の削減量累計と2017～2030年度の削減量累計(2016年度比)

※3 2017～2020年度の投資額累計と2017～2030年度の投資額累計

## 事業等のリスク

当社グループの経営成績及び財務状況等に影響を及ぼす可能性のあるリスクには以下のようなものがある。なお、文中における将来に関する事項は、2017年度末時点において当社グループが判断したものである。

### (1) 当社グループの事業全体に関するリスク

- ① 経済金融社会情勢、景気等の変動、市場の縮小**  
国内外における経済、金融、社会情勢、景気の悪化等による、売上高の減少や資金調達の不調、共同事業者、取引先の倒産、人口減少や工場の海外移転等
- ② 為替、調達金利の変動**
- ③ 大規模な災害、事故、感染症等の発生**  
大規模な自然災害、テロ、事故の発生、新型インフルエンザ等感染症の大規模な流行
- ④ 各種国際規範、政策、法令、制度等の変更**  
環境・社会・ガバナンスに関する国際規範や、国内外の規範・政策・法令・制度等の変更
- ⑤ 競争の激化**  
あらゆる事業分野における、他事業者との競争激化
- ⑥ 基幹ITシステムの停止、誤作動**  
ガスの製造、供給や料金に関するシステム等、基幹的なITシステムの停止、誤作動
- ⑦ 取扱商品・サービスの品質に関するトラブル**  
当社グループが取り扱う商品・サービスに関する品質上のトラブルが発生した場合における、対応に要する費用の支出や社会的信用の低下
- ⑧ 情報漏洩**  
当社グループが保有するお客さま情報、技術情報をはじめとする、業務上取り扱う重要情報の社外流出
- ⑨ コンプライアンス違反**  
法令等に反する行為が発生した場合における、社会的信用の低下及び費用の発生

### (2) 当社グループの主要な事業に関するリスク

- ① 国内エネルギー事業**
  - a 気温、水温の変動によるエネルギー需要への影響**
  - b 原燃料費の変動**  
為替相場、原油価格等の変動、調達先との契約更改や価格交渉の動向等による原燃料費の変動
  - c 原燃料調達に関するトラブル**  
ガス、電力の原燃料であるLNG等の、調達先の設備や操業等に関するトラブル
  - d ガスの製造、供給に関するトラブル**  
自然災害や事故等による、ガスの製造、供給に関するトラブル
  - e 発電、電力の供給に関するトラブル**  
自然災害や事故、燃料調達トラブル等による、発電、電力の供給に関するトラブル
  - f ガス消費機器、設備に関するトラブル**  
ガスの消費機器、設備に関する重大なトラブル
  - g 他事業者との競合激化及びそれに伴う消費者の事業者選択**
- ② 海外エネルギー事業**  
当社グループが事業を行っている国における政策、規制の実施や変更、経済社会情勢の悪化、技術的問題等の要因によるプロジェクトの遅延・中止や採算の悪化等の事業環境の変化  
  
当社グループは、以上のリスクに備え、為替、原料等のデリバティブ、災害保険等の各種保険、基幹ITシステムのセキュリティ向上、コンプライアンスや情報管理の徹底、業務執行状況の適切な把握と監督、保安、災害対策、事業継続計画の策定・見直し等によって、リスク発生時の業績への影響を低減するように努める。